

日本内分泌学会 創設100周年記念式典 京都宣言

令和8年（2026年）6月5日（金） 国立京都国際会館

日本内分泌学会は1925年の創設以来、国民の健康と医学の発展に大きく貢献してきました。
私たちはその歩みに敬意を表し、内分泌代謝学に携わる者としての矜持をもって、
次の100年に向け、以下の活動に取り組みます。

- ・ ホルモンと内分泌代謝学に関する正確で最新の情報を広く社会に発信し、
内分泌代謝疾患の早期診断と質の高い治療の実現に向けた啓発活動を推進します。
- ・ 人工知能や情報科学の進歩を踏まえて、社会の急速な変化や少子高齢化に対
応した、持続可能な内分泌代謝疾患の診療体制を構築します。高度で専門的な
医療の提供と地域連携の強化を通じて、国民の健康と福祉の向上に貢献します。
- ・ 未来を切り拓く若手医師・研究者の志と挑戦を支援し、創造の場を提供します。
病態から学び、社会に貢献できる喜びと誇りをもつ内分泌代謝学の担い手を
育成します。
- ・ 様々な叡智を結集し、内分泌代謝疾患の病態解明、新規ホルモンの発見、専
門領域の開拓を推進します。異分野融合を通じ、内分泌代謝学の深化と発展
を目指します。
- ・ 内分泌代謝学を志す多様な背景を有する人々を尊重し、国際的な連携を深め、
アジアおよび世界の内分泌代謝学を先導します。

私たちはこれらの活動を通じて、わが国の内分泌代謝学の歩みを未来に継承し、
最新の科学技術と人間中心の医学の調和のもと、次世代の内分泌代謝学を創造します。

一般社団法人 日本内分泌学会